

特別活動 - 1〔学級活動〕(第2学年) 集団としての合意を形成する力を育成する事例

【学習活動の概要】

1 学級活動 校内音楽会の合唱曲を決めよう		
2 目標 校内音楽会における学級の合唱曲を決める話し合い活動を通して、自己の考えや思いを自分の言葉で表現するとともに、考え方の違いを超えて学級として意見をまとめ、協力して実践していこうとする態度を育てる。		
3 評価規準 【集団活動や生活への関心・意欲・態度】 ・学級や学校生活の充実と向上につながる合唱曲の選定に関心をもち、互いの考え方の違いを超え、自主的、自律的に集団活動に取り組もうとしている。 【集団や社会の一員としての思考・判断・実践】 ・学級の一員としての自覚と責任をもち、根拠(理由)を示して自己の考えや思いを発表するとともに、互いの意見を尊重しながら考え、判断し、協力している。 【集団活動や生活についての知識・理解】 ・校内音楽会に向けた活動を通して充実した学級生活を築くことの意義や、学級集団として意見をまとめる話し合い活動の仕方を理解している。		
4 活動の概要 本活動は、学級の凝集性を高めることを目指して行った校内音楽会の合唱曲の選定を議題とした話し合い活動である。合唱曲については、それぞれの生徒が様々な希望をもっている。そこで、最初に、音楽会や学級に対する様々な思いを伝え合う活動を行った。そして、学級の目標や実態に応じた曲の選定に向け、根拠を明確にして話し合い、決まったことに対して互いに協力し、実践していくことを通して、よりよい人間関係を築く力の育成や望ましい学級の風土の醸成を図ろうとしたものである。		
5 活動の実際		
(1)活動の計画		
	主な活動内容	言語活動に関する指導上の留意点
事前の活動	昨年度の校内音楽会を振り返るとともに、今年度の音楽会にかける自分の考えや思いを伝え合い、学級としての目標を設定する。 自分が歌いたい合唱曲について、根拠を明確にして学級活動カードにまとめる。	・校内音楽会にかける自分の考えや思いをまとめ、伝え合う場を設定する。 ・学級のよさや課題を分析し、自分が歌いたい合唱曲について根拠を明確にし、学級活動カードにまとめさせる。
話し合い活動	予め決めていた合唱曲の選定条件を確認する。 自分が歌いたい合唱曲について、根拠を明確にして発表し合い、比べ合う。 今の学級にふさわしい合唱曲を学級として決定する。	・「なぜその合唱曲を歌いたいのか」「どんなところが選定条件に合っているのか」を説明させるとともに、級友の考えも尊重しながら、学級にふさわしい曲を決定するよう助言する。
事後の活動	校内音楽会に向けた学級の目標を踏まえ、練習計画や役割分担などについて話し合い、協力して練習に取り組む。	・練習をする中で感じたり、気付いたりしたことについて伝え合うよう助言する。
(2)学級活動 - 「(1)学級や学校の生活づくり」における言語活動 - 学級活動(1)で重視すべき言語活動は、生徒が主体的によりよい学級や学校の生活を築いていくために、考え方の違いを超えて学級の意見を自分たちでまとめていくための話し合い活動である。ここでは、様々な考え方をもちた学級の成員がそれぞれの意見を根拠を明確にして出し合い、相互に尊重し合いながら話し合い活動を行うことができるようにする指導を通して、集団としての合意を形成する力を育成することが大切である。		

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

中学校学習指導要領第5章特別活動において、第3の2の(1)に「〔学級活動〕及び〔生徒会活動〕の指導については、(中略)よりよい生活を築くために集団としての意見をまとめるなどの話し合い活動(中略)を充実するよう工夫すること。」と示されている。

生徒にとって学級は基礎的な生活の場であり、学級生活の充実や向上は誰もが望んでいる。そこで、多様な意見や考えをもつ生徒が集まる学級での生活や人間関係をよりよくするために、話し合い活動の充実を図ることが必要であると考え。また、こうした活動により、望ましい学級の風土が醸成されるとともに学級の文化が作られていく側面もあることから、話し合い活動を通して互いの考えや思いを伝え合い、学級として意見をまとめ、みんなで実践していく活動を繰り返し行うことが大切である。

本事例は、このような指導の一環として、互いの考えや思いを根拠を明確にして伝え合うことを重視した取組を通して、相互理解を深めながら考え方の違いを超えて学級としての意見をまとめていくことができるようにするとともに、望ましい学級の風土を醸成し、学級生活の充実・向上を図るため、校内音楽会に向け、活動意欲を高めていくことを目指したものである。

【言語活動の充実の工夫】

話し合い活動

ねらい 自分が歌いたい合唱曲について、根拠を明確にして発表し合い、互いの意見を比べ合うことで、他者理解を深め、学級としてふさわしい合唱曲は何かについて考えさせる。

選定条件や提案理由の明確化

事前に決定していた選定条件「歌詞」「曲調」、提案理由のキーワード「組らしい」「組の生活をよりよくするためにみんなで協力できる」これらに沿った根拠を考えさせておき、本時で発表させる。

意見を比較させるための工夫

出された意見を絞っていくために、「なぜその曲を歌いたいのか」という理由を発表させるとともに、級友の発表のよかったところを明確にし、それぞれのよさを比較しながら意見の絞り込みを行う。



話し合い活動

ねらい 今の学級にふさわしい合唱曲を決定することで、校内音楽会に向けた活動意欲を高める。

納得のいく集団としての意思決定を行うための質疑応答の時間の確保

集団としての意思決定の重みについて説明したうえで、「最後に言っておきたいこと」「疑問に思うこと」「どうしても～にこだわる理由」など言い残した生徒がいれば、発言の機会が与えられるよう配慮する。

校内音楽会に向けた活動意欲を高めるための工夫

本時の活動を終えての感想発表を帰りの会で行う。また、決定した曲の歌詞・歌い方・思いなどを記した掲示物を作成するとともに、合唱曲を上手に歌うための方法について話し合う。さらに、学級通信等を活用するなどして、相互に評価し合う場を設定する。

全体を通しての感想

最初は迷ったけど、曲を聴いたらみんなの意見を聞いてみてよかったと思いました。時間話し合ってた曲なので、みんなと一緒にうたうのが楽しかったです。みんなが最後までがんばっていてすごかったです。

全体を通しての感想

最初は迷ったけど、曲を聴いたらみんなの意見を聞いてみてよかったと思いました。時間話し合ってた曲なので、みんなと一緒にうたうのが楽しかったです。みんなが最後までがんばっていてすごかったです。

本事例は、考え方や価値観の違いを超えて、学級としての目標の実現のために何がよいかについて考えさせるものである。「どのように行うのか」など創意工夫を求める話し合いではないが、思いと思いが考えを発展、統合していく醍醐味を実感できる。このような話し合い活動により、学級の一員としての自覚が高まるとともに音楽会に向けた望ましい学級の風土を醸成していくことができる。また、互いの考え方や価値観の違いを超え、思考力・判断力・表現力等を駆使して話し合うことを通して、自己理解・他者理解を深め望ましい人間関係を築いていく上でも効果が期待できる。

思考力・判断力・表現力等の学習活動の分類： (分類番号は P5 表参照)